

第219号 再開発コーディネーター通信 平成18年9月1日



〒105-0004 東京都港区新橋6-17-20 米田ビル
TEL 03-3437-0261 FAX 03-3432-8908
ホームページ (HP) <http://www.urca.or.jp/>
E-mail info@urca.or.jp

"会員の拡大のため「勧誘」には非ご協力をお願いします。"

"名刺には、再開発コーディネーター協会個人正会員・再開発プランナー・マンション建替えアドバイザーと記入し、PRに努めましょう。"

再開発プランナー試験(筆記試験) 実施速報

平成18年度再開発プランナー試験(筆記試験)は、8月20日(日)東京、大阪の2会場で実施されました。

受験者は、東京339名、大阪74名の計413名でした。

合格発表は、10月5日(木)の予定です。協会事務局に合格者を掲示し、協会ホームページに合格者の受験番号を掲載します。また受験者には、郵送にて結果が通知されます。

再開発事業事務局員養成講座の開催案内(予告)

再開発組合事務局業務全般の知識と実務を2日間で集中的に学ぶ講座です。

詳細は次号の協会通信で案内します。

講習日:平成18年11月29日(水)・30日(木)

受講料:会員48,000円・一般60,000円

会場:当協会会議室(東京)

平成18年度「法人賛助会員情報交流会」の開催案内

昨年に引き続き第2回「法人賛助会員情報交流会」を来る9月25日(月)午後5時から日本橋「アーバンレストラン東洋」で開催いたします。

法人賛助会員で、まだお申込みしていない法人がありましたら、協会事務局までご回報下さい。

国土交通省平成19年度予算概算要求について

さる8月29日、標記概算要求内容が発表されましたが、そのうち、市街地再開発等にかかる主要なポイントは以下の通りです。なお、詳しくは協会ホームページ「会員ホット情報」上のPDFファイルを参照ください。

1.市街地再開発事業等(一般会計・道路特会計)

要求額 事業費 425,096百万円(対前年度比1.60)

国費 72,622百万円(同1.30)

2.主要な新規事項

(1)市街地再開発事業

- ・第二種事業の法定面積要件(現行5,000㎡以上)の緩和
- ・第二種事業の採択要件につき、防災街区整備地区計画又は防災再開発促進地区の区域内等は2,000㎡以上に緩和
- ・補助制度の簡素化・・・共通的に整備される共同施設整備部分等に要する費用について包括的に乗率により補助対象事業費を算定

(2)先導型再開発緊急促進事業等

- ・再編・整理した上で制度を延長
- ・地域の実情に応じて弾力的な支援を行う事業制度を創設

(3)21世紀都市居住緊急促進事業(住宅局)

- ・再編・整理した上で制度を延長

(4)都市再開発支援事業(都市・地域局)及び市街地総合再生事業等(住宅局)

- ・関係者が組織する再開発協議会(仮)に対して国が直接補助を実施

(5)優良建築物等整備事業(住宅局)

- ・阪神・淡路大震災に関し、非常災害時補助率(2/5)の適用期限を延長

(6)防災街区整備事業

- ・公共施設及び防災施設建築物の整備に要する費用等を補助対象とする買取型の事業制度の創設等

(7)街なか居住再生ファンド(住宅局)

- ・25億円の増額と街なか居住再生に資する居住環境整備を行う事業を出資対象に追加

(8)民間再開発促進基金 債務保証制度(住宅局)

- ・債務保証対象に分譲マンションの耐震改修資金にかかる借り入れを追加

(9)密集市街地緊急リノベーション事業(仮称)の創設

- ・都市計画道路の整備にあわせ整備計画に基づく各種事業を一体的に実施

- ・都市防災総合整備事業の拡充により計画コーディネート支援

- ・整備計画に位置づけられた事業(市街地再開発事業、防災街区整備事業、土地区画整理事業等)につき採択要件を緩和 夫々の事業面積の合計が一定以上

3.関連制度等

(1)まちづくり交付金

事業規模の拡大、「まちおこしセンター(仮称)」「子育て世代活動支援センター(仮称)」を基幹事業に追加

(2)都市再生街区基本調査(土地活用促進調査)の創設(土地・水資源局)

(3)日本政策投資銀行の市街地再開発事業、防災街区整備事業に対する金利特例措置を平成19年度末まで延長

(4)再開発関係税制

市街地再開発事業により建築された施設建築物の取得者に対する割増償却制度の延長(所得税・法人税)

市街地再開発事業により一定の規模の施設建築物が与えられる従前権利者に対する税額の軽減措置の延長(固定資産税)

密集市街地における第二種市街地再開発事業の面積要件の緩和に係る課税特例措置の適用(所得税、法人税、登録免許税、不動産取得税、固定資産税等)

**新企画「再開発が景観をつくる」事例研究会(第1回)
「表参道ヒルズ」視察会開催案内**

街並み・景観研究会の主催による「表参道ヒルズ」視察会を開催します。表参道の景観に配慮した設計や、低層に抑えた中での事業計画などについて概要説明を行うとともに、施設見学を実施します。オープン前の時間から館内で説明を行い、ゆっくり視察できる予定です。

日時：平成18年10月23日(月) 9:40~12:00

場所：表参道ヒルズ館内 定員：50名

参加費：5,000円(会員) 6,000円(一般)

詳細は同封案内をご覧ください。

国内再開発事業事例視察(静岡市)開催案内

静岡市で近年に完成した2地区の再開発事業を中心に、事業内容、推進の経緯解説と、完成施設の視察を行います。

開催日 平成18年9月29日(金) 13:30~17:00

参加費：5,000円(会員) 6,000円(一般)

視察予定施設

1. 静岡駅南口第二地区【エスパティオ、水の森ビル】

2. 御幸町伝馬町第一地区【ペガサート】

詳細は同封案内をご覧ください。

各地のマンション建替えセミナー開催予定

9月29日(金) 札幌(第2水産ビル)

11月11日(土) 大阪(公庫大阪すまい・るホール)

12月2日(土) 仙台(戦災復興記念館)

12月10日(日) 東京(公庫すまい・るホール)

マンション建替えアドバイザーネットワーク北海道・東北等の地元のアドバイザーが企画を工夫し開催します。関係方面への周知とご参加をお願いします。

詳細は、協会ホームページに順次掲載します。

委員会カレンダー

9月4日(月) 会報委員会

9月6日(水) 調査研究委員会

9月6日(水) マンション建替え事業支援委員会

9月7日(木) 総務委員会

9月20日(水) 国際委員会

9月25日(月) 業務基準委員会

理事会等

10月24日(火)第97回理事会

会員会社人材募集のコーナー

法人会員の業務拡大等に伴う人材募集について、このコーナーをご活用ください。求人会社名は掲載しませんが、ご希望の方は、下記の整理番号を明記の上、履歴書等を協会にお送りいただき、詳細は当該求人会社より、直接連絡が行きますので、相談してください。(事務局担当：総務部長 木口)

(整理番号：人材0609-1-1)

業務内容A：市街地再開発事業、マンション建替事業等における事業計画、権利変換計画作成業務、権利者対応業務等

B：一般事務、電話受付業務

募集人員A：30歳から40歳くらいの方、若干名

B：25歳から40歳くらいの方、1名

経験・資格

A：市街地再開発事業のコンサル業務の経験者等で再開発プランナー、一級建築士等の資格があれば尚可

B：積極性、協調性、責任感のある方

勤務地：東京都港区内、ただしAは現場対応有り

勤務時間：9:30~18:00 但し、Aは権利者の時間外対応、休日対応も有(代休制度有り)

給与等待遇：3ヶ月間は試用期間、その後正社員

年齢、経験、資格等を考慮し社内基準で決定

休日・休暇：土・日・祝日、年末年始・夏季休暇、有給休暇

福利厚生：健康保険、厚生年金、雇用保険加入

(整理番号：人材0609-2-1)

業務内容：市街地再開発事業の計画立案、事業推進、コーディネーター業務

募集人員：若干名

年齢：25歳から40歳くらいの方

経験・資格：再開発プランナー資格を有し、再開発の経験がある人。その他関連資格あれば歓迎。

勤務地：東京

勤務時間：10時~18時が基本

給与待遇：年齢・経験・資格等を考慮した年俸制。成果に応じた賞与あり。

交通費支給、退職金制度あり。

休日・休暇：週休2日制 祝日休 年末年始休暇 有給休暇

福利厚生：社会保険・健康保険・雇用保険・労災保険

国土交通省 (市街地再開発事業等関係)

H18.9.1現在

都市・地域整備局 市街地整備課

市街地整備課長 松田 秀夫 氏

市街地整備課 再開発事業対策官 木下 一也 氏

市街地整備課 課長補佐 成田 潤也 氏

市街地整備課 再開発係長 留目 峰夫 氏

市街地整備課 再開発推進係長 小富士 貴 氏

住宅局

市街地建築課長 井上 俊之 氏

市街地建築課 景観建築企画官 真鍋 純 氏

市街地建築課 高度利用調整官

(併)内閣官房都市再生本部 香山 幹 氏

市街地建築課 課長補佐 檜橋 康英 氏

市街地建築課 市街地再開発係長 澤田 裕之 氏

(マンション建替え関係)

マンション政策室長 油谷 充寿 氏

マンション政策室課長補佐 前田 亮 氏

マンション政策室市街地再生係長 小野 隆 氏

(密集関係)

市街地住宅整備室長 橋本 公博 氏

市街地住宅整備室 企画専門官 須藤 哲夫 氏

市街地住宅整備室 企画係長 松本 潤朗 氏